

令和5年10月10日

お知らせ

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	近藤・塚本	加藤・栗坂
内線	4385	
電話	086-272-1148	

菊薫る秋「第66回岡山県後楽園菊花大会」を開催いたします

色鮮やかな菊の花が後楽園を華やかに彩る、秋の恒例行事「第66回岡山県後楽園菊花大会」を開催しますので、お知らせします。

なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概要

岡山県内の菊愛好家が丹精込めて育てた菊作品を園内に展示します。

11月6日（月）には出品作品の審査を行い、部門ごとに、推薦、特選等の各賞を決定します。

出品者は、菊の花が審査日の頃に最も美しく咲き揃うよう、一年かけて菊作りを行っています。

2 開催期間

令和5年10月15日（日）～11月12日（日）

3 時間

午前8時～午後5時（入園は午後4時45分まで）

4 場所

正門付近、鶴鳴館前庭、弓場

5 出品作品

- ・大菊の部（花壇、鉢組別、福助、ダルマ）
 - ・小菊の部（花壇、懸崖）
- 計約300鉢

6 出品者数

20名（19名と1団体）

7 主催

岡山県、岡山県菊花振興会

8 審査及び表彰式

審査：令和5年11月6日（月）菊花大会会場

表彰式：令和5年11月24日（金）鶴鳴館本館（予定）

裏面に続く

9 その他

《出品作品の主な種類》

○大菊花壇

大菊三本仕立にしたものを12品種、色別（赤・黄・白）草丈別（短・中・長）に組み合わせた花壇

○福助

大菊の挿芽の時期を2か月程度遅らせ、草丈を低く（45cm程度）育てる仕立て方で、花の大きさは大菊と変わらない

○ダルマ

大菊の挿芽の時期を1ヶ月程度遅らせ、草丈を約60cmに育てた三本仕立で、全体が丸いダルマのような形であることからこの名がついた

○総合花壇

様々な品種の菊を組み合わせ、立体的な1つの花壇として観賞するもの

○懸崖^{けんがい}

1本の小菊を型枠に沿わせて多くの枝を出させ、崖に垂れて咲く姿に作り、株全体を同時に咲かせるもの

○集合花壇

菊花振興会会員によるドーム菊・杉作りなどの菊、約80鉢を用いた作品の特別展示



大菊花壇



懸崖

《菊の栽培》

菊作りは1年中休むことなく続けられる繊細な園芸です。秋の花が終わるとすぐ次の年の花の準備に入ります。苗が育つ春先からは栽培に手が抜けなくなり、冬の間準備していた土作りや肥料作りの成果が、花の大きさや色艶、葉の大小、全体の姿などに影響してきます。

例えば、大菊花壇の場合は、赤黄白12品種の大菊を交互に配置し、鉢の組み合わせによって、花の大きさや配色、また葉並びなどを整えます。さらに花壇を組んだとき地面を掘って鉢を埋めたり、逆に高くしたりなど人為的に手を加えず鉢を地面に並べ、それが雛壇を組んだように菊の花が揃うのが良いとされています。このため、開花時点の高さに合わせてそれぞれの鉢を仕立てる必要があります。